



## い草 八月苗の管理について～水田から畑状態に移行～

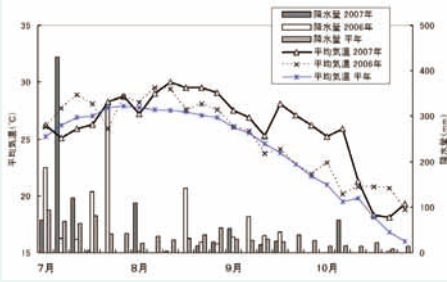
### 1) 水管理

9月中旬以降は、新芽の発生を促すために、落水管理へ移行します。少しずつ、水のない環境に慣らしながら畑状態に移して下さい。

落水管理への目安は、涼しく感じられた頃（平均気温が25℃を下回った頃）とし、土壤の乾燥が激しい場合や日中温度が高い場合は、走り水程度の入水を行って下さい。

※ 水の入水・落水がスムーズに出来るように、溝切りや側溝の整備をきちんと行いましょう。

■ 参考資料 ■



【2007年(平成19年)の八月苗生育期間の気象】

この年は、八月苗の生育不良が目立った年であったが、要因として、9月中旬以降の平均気温は、平年では25℃より下っていたが、2007年では8月下旬から下降していた平均気温が9月中旬から再度30℃近くまで上昇し、平均気温が25℃を下回ったのは、10月2旬を過ぎてからであった。9月中旬以降落水管理となる八月苗床において、高温障害を受けて生育不良となったものとみられる。

### 2) 追肥

落水管理時期から追肥の検討が必要となります。

施用時期の目安は9月中旬・10月中旬となりますが、掘り取り時期から逆算することも必要となります。

下記の表の成分量を参考に施用して下さい。



(N成分量kg/10a)

成分	総量	元肥	追肥	
			9月中旬	10月中旬
窒素	19	5	6	8
りん酸	12	12	-	-
カリ	18	4	6	8

### 3) イグサシムシガ防除

本田での発生は八月苗からの持ち込みが主な原因となりますので、八月苗からの防除を徹底して下さい。

例年の蛾の発生から予想しますと、防除時期の目安は9月下旬と予想されます。

圃場での発生を確認の上、防除を行って下さい。防除農薬についてはご相談下さい。

ストップ!  
農作業事故

## トラクターの片ブレーキ事故防止

人間工学専門家 ● 石川文武

農作業死亡事故は乗用トラクターに関わるものが多く、その中でも転倒や転落に分類されるケースが大半です。しかし、なぜ転倒・転落に至ったのかの詳細は報告されていません。筆者らの調査によれば、道路上での事故の大半は片ブレーキが主要因になっていると分かりました。

乗用トラクターはブレーキペダルが右用と左用に分かれていて、通常は同時に働くようにリンクで連結されています。そのリンクを外すことによって圃場（ほじょう）内では旋回性能を高めるために左右のブレーキが独立して作用し、枕地手前で右側のペダルを踏めばその場旋回のように右回りができます。

圃場での作業開始時にはオペレーターが連結を解除して行い、終了時には再連結するのですが、人間の行



動特性として、再連結を忘れたまま次の行動に移ることがあります。そのため、圃場から道路に出て速度を上げて走り、すれ違いや右左折、信号停止などでのブレーキ操作時に片ブレーキとなって転倒・転落や他の車との接触・衝突事故になります。

トラクターは一般の車と違って、ハンドルを回して車体の向きが自動的に真つすくにはならず、操作が必要とされています。運転操作や作業の研修を受けていなかったりして、道路に出てすぐに右左折しなければならぬときに適切な速度でない場合には、車体コントロールができないことがあり、パニック状態となつて、蛇行したり、片ブレーキを踏み事故になることも見受けられます。

いずれもヒューマンエラーの典型です。従来は人の注意力に頼っていました。このミスは機械側から補うことができれば、片ブレーキ事故は減らせます。最新のトラクターには、ダッシュボードに片ブレーキ状態を示すランプが取り付けられています。道路走行に移る前に再連結を促しているのですが、万全の装備とはい切れません。

圃場から出る前には片ブレーキの連結状態を確認する危険予知行動を習慣付けるようにしましょう。

19



乙女座  
8/23～9/22

♥全体運♥ 新しいことを始める好機。何事にも前向きにトライを。オープンしたばかりのお店に足を運ぶのも良い刺激に

♥健康運♥ 小さなけがに注意。慌てず、落ち着いて  
♥幸運を呼ぶ食べ物♥ サンマ